



原田放送学級の各記録簿

「放送婦人学級」ではないかと思  
います。

親として子どもをどう育ててい  
くかは、最大の課題であり義務な  
のですが、親自身の育ち方、価値  
観、倫理観また養育態度がそのま  
ま子どもに反映するのは仕方な  
いことだと思えます。子どもがど  
う育つかは親がどう育てられ、育  
っているかということではないで  
しょうか。「子どもをしつける前  
にまず親をしつけない」という  
言葉にもうなずけます。現在のよ  
うに社会が多様化してくると、親  
自身が揺れ動き自信もなくなり「  
積木くずし」のような現象も出て  
きます。

視聴覚教育の家庭版とでもいえ  
る「お母さんの勉強室」は家庭に  
あって、とても参考になり、また  
しっかりとした教育観を持つため

にも意義の深い番組だと思いま  
す。放送婦人学級を通して、多くの  
先生方から教育現場での「生の声」  
をお聞きすることができ、本音に  
ちかいところで語り合えた事は、  
とてもうれしく、楽しかった。

また、先生方ご自身の子育て論、  
体験談などを通して学ぶことも多  
く、「子育て前線」に明るい光を感  
じました。

現在お母さんたちが抱えている  
問題、特に「子育て」における原  
点が「家庭教育」にあることが全  
般にわたって話し合わせ、その大  
切さを改めて思わされました。  
(文集より一部抜粋)

### (三) 放送利用による「家庭教育」への効果(評価)

#### ① 子育てにおける連帯感

放映された講師の考え方を通じ  
て学習し、自分ひとりだけの悩み  
でないことの確認によつての安心  
感から発生する連帯意識の強化。

#### ② 学習の家庭への還元(学習の生 活化)

学習を即家庭生活に活用し、円  
満な親子関係の確立に役立たせる。

#### ③ 教育番組への期待

放映に対して「視聴の目」が養  
われたこと。批判力の高まりによ  
つて、更に良い番組製作への期待  
が高まっている。

#### ④ 公民館の各種学級への波及

放送学級への参加により、公民

館事業に自主的参加の婦人も増え  
公民館事業への理解が深められた。

### 四、五十九年度 福島県くらしに生か す放送利用研究集会—浜通り大会

七月十日(火)本町で開催された集  
会には浜通りを中心に県下各地から百  
余名の参加者で盛会裡に終了するこ  
とができた。

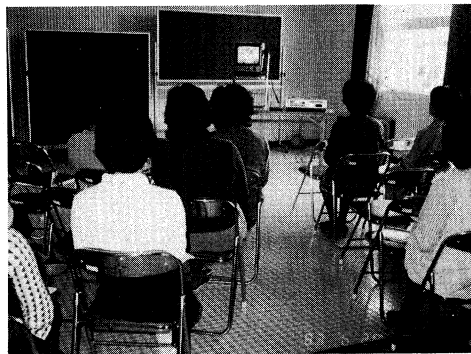
本研究会の中心である公開学習への  
婦人学級生は、意欲的に活動し、自主  
的に研修を重ねた。

自主的研修は月一回の学習会を基盤  
としてでき上つたものであり、「放送  
利用学習の生活化」もこのような点に  
もはっきりと見ることができると

### (一) 研修会内容

#### ① 公開学習

NHK「お母さんの勉強室」



テレビによる視聴学習風景

テーマ「お父さんの出番です」  
父親の家庭生活への実質参加を  
より多くもつて、家庭教育の充実  
をはかることを目的とする内容で  
展開された。

学級生の公開学習の時間の中で、  
公開学習参加者の意見を聞く、全く  
のオープン参加の方法で、学習者  
と会場が一つになった学習会の展  
開に発展し、参加者も「参加した」  
感を強くした研修会であった。

#### ② 放送利用による事例発表

ア 「お母さんの勉強室」の利用  
イ 「きよの健康」番組利用  
健康生活学級生

### (二) 講演 「社会教育における放送利 用とは何か」

講師 宮城教育大学教授  
雪江久美先生

### 五、おわりに

放送利用による学習は、ともすると  
その場かぎりの学習(一過性)に終始  
しがちな学習法だけに、学習記録、学  
級日誌、一年間のまとめ(文集)など  
確実な記録の定着化をはかる必要があ  
る。

紙面の都合で充分意を尽しきれない  
部分も多くあつたが、放送利用の学習  
効果がはっきりと行動意識の中にあ  
らわれてきている状況にある。

今後よりよい学習活動を目指して、  
本事業の定着、発展をはかりたい。

(社会教育主事・池田 満吉)